

「赤いカラヤン」ポリヤンスキーが
チャイコフスキーに捧げる
渾身のタクト

オールチャイコフスキー

ピアノ協奏曲第1番

(ピアノ: アンナ・フェドロヴァ)

交響曲第5番 他

※7/16(火) 東京オペラシティ

チャイコフスキー三大交響曲

交響曲第4・5・6番「悲愴」

※7/20(土) 横浜みなとみらいホール



ヴァレリー・ポリヤンスキー(指揮)

ロシア国立交響楽団

《シンフォニック・カペレ》

State Symphony
Cappella of Russia

2019年7月16日(火) 19:00開演(18:30開場)

東京オペラシティ コンサートホール

2019年7月20日(土) 13:00開演(12:30開場)

横浜みなとみらいホール

ピアノ: アンナ・フェドロヴァ

アルゲリッチ大絶賛。

世界中がググる

再生回数2000万回のピアニスト!

YouTube Anna Fedorova で検索

主催: テンポプリモ、神奈川芸術協会(横浜公演のみ) 後援: ロシア文化フェスティバル日本組織委員会
協力: 横浜みなとみらいホール(横浜公演のみ)

全席指定 S席13,000円 A席11,000円 B席9,000円 C席7,000円(税込み)

※未就学児の入場はお断りしています。/ やむを得ず曲目が必要になることがあります。

お問い合わせ

テンポプリモ 03-3524-1221 (平日10:00~18:00) www.tempoprmo.co.jp

神奈川芸術協会(横浜公演のみ) 045-453-5080 www.kanagawa-geikyo.com

聴き慣れたはずの旋律から、 晩年に向かうチャイコフスキーの内面が多層的に立ち現れてきた。

(吉田純子/朝日新聞)

ロジェストヴェンスキー亡き後のロシア音楽界を背負って立つ巨匠指揮者、ヴァレリー・ポリャンスキーが、手塩にかけて育て上げた名門ロシア国立交響楽団《シンフォニック・カペレ》を率いて再び来日します。2015年にはチャイコフスキーの交響曲第4番、5番、6番「悲愴」を一気に演奏し、その底なしのエネルギーと集中力はおろか、聴き慣れたはずのチャイコフスキー音楽の本質を再提示したことで、新鮮な驚きと感動を巻き起こしたことは当時の音楽評論界でも称賛され大変話題になりました。

今回の来日でもチャイコフスキーの3つの交響曲を横浜みなとみらいホールで披露します。また、東京オペラシティの公演では、ソロピアニストにアンナ・フェドロヴァを迎え、彼女も得意とするチャイコフスキーのピアノ協奏曲を演奏します。YouTubeでの再生回数が2000万回という驚異的な記録を残す彼女の演奏は、非常に豊かで力強くかつ繊細で、聴く者の耳をとらえて離しません。チャイコフスキーを知り尽くしたポリャンスキーと彼のオーケストラとの共演を見逃すことなかれ！



指揮：ヴァレリー・ポリャンスキー



Valery Polyansky, Conductor

1949年モスクワ生まれ。モスクワ音楽院にて、合唱音楽の格闘ボリス・クリコフに師事して在学中から指揮活動を開始する。1975年自ら結成したロシア国立室内合唱団を率い、グイド・ダレツォ国際合唱コンクールでロシアの団体としては初の優勝を飾り、特別賞、最優秀指揮者賞も受賞。以来、「合唱のカラヤン」「赤いカラヤン」等の異名を打す。一方、モスクワ・オペレッタ劇場の指揮者を務める傍ら、ゲンナジー・ロジェストヴェンスキーに指揮法を学び、

ポリショイ劇場等で多くのオペラ・プロダクションを手掛けた。1992年ロジェストヴェンスキーの要請で旧ソビエト国立文化省交響楽団を改称したロシア国立交響楽団の音楽監督に就任、世界各国で招聘されいづれのツアーも大成功を博す。数重にも練りあげられたピアノシモを駆使する独自の手法から、ロシアきっての天才指揮者と評される。1996年ロシア人民芸術家叙位、2002年よりエーテボリ音楽祭首席指揮者。モスクワ音楽院教授、ラフマニノフ国際ピアノ・コンクール総裁を務める。

ロシア国立交響楽団《シンフォニック・カペレ》

State Symphony Capella of Russia

1957年に旧ソ連の巨匠サムイル・サモソドが設立した全ソヴェト放送オペラ交響楽団を前身とする。71年よりマクシム・ショスタコーヴィチが音楽監督に就任し、アメリカに亡命する81年までに父ドミトリーの多くの作品を発表した。のちにロジェストヴェンスキーを音楽監督に迎へソヴェト国立文化省交響楽団と改称、さらに91年にソヴェト連邦国立室内合唱団と合併して現名称となる。この際合唱指揮の重鎮ヴァレリー・ポリャンスキーが音楽監督に就任し、グムルディの「レクイエム」やドヴォルザーク「テ・デウム」、ラフマニノフ「鐘」など大作を次々と演奏しオーケストラのレパートリーを飛躍的に拡充させ、「ロシアで最も優れた交響楽団」と評されるようになった。その名声により、旧ソ連内をはじめアメリカ、イギリス、スイス、ドイツ、イタリア等欧米各国に定期的に招聘されて絶賛を博している。ソヴェト国立文化省交響楽団時代から数多くの録音を残しており、ロジェストヴェンスキーによるチャイコフスキー交響曲全集(シヤンドス)、ショスタコーヴィチの各交響曲、ポリャンスキーによるチャイコフスキーとショスタコーヴィチの交響曲やラフマニノフ交響曲全集、ラフマニノフの交響曲「鐘」を含む管弦楽曲集と交響曲全集をリリースしている。



ピアノ：アンナ・フェドロヴァ Anna Fedorova, Pianist

1990年キエフ生まれ。5歳からピアノを始め、ルイセンコ記念キエフ音楽学校でボリス・フェドロフに師事。続いてロンドンの王立音楽院とイタリアのイモラ国際音楽アカデミーに進学してノルマ・フィッシャー、レオニード・マルガリウスへ学んだ。2009年ルービンシュタイン記念国際ピアノ・コンクール第1位をはじめ15個の受賞歴を持ち、マルタ・アルゲリッチから絶賛されるなど天才女流ピアニストとして世界中の著名ホールへ登場。特にアムステルダム・コンセルトヘボウには既に20回以上出演している。2011年ヤープ・ヴァン・ズヴェーテン指揮ダラス交響楽団と共演して本格的なアメリカ合衆国交響曲デビューを飾ったほか、欧米の著名オーケストラと共演を行っている。現在、2000万回を超えるYouTubeのアクセス数が欧米で話題となっており、豊満かつ力強い演奏に音楽界の期待も大きい。2016年兼・メルクル指揮香港フィルハーモニー管弦楽団、オラリー・エルツ指揮読売日本交響楽団とラフマニノフのピアノ協奏曲第2番を共演。世界各地の音楽祭にも定期的に招聘され、2017年には福島県の東日本大震災復興支援公演へ出演した。オランダ在住。

プレイガイド

一般発売

2018年
12月22日(土) 10:00~

テンポプリモ 03-3524-1221 www.tempoprimo.co.jp
神奈川芸術協会 (横浜公演のみ) 045-453-5080 www.kanagawa-geikyoo.com
東京オペラシティチケットセンター (東京公演のみ) 03-5353-9999
横浜みなとみらいホールチケットセンター (横浜公演のみ) 045-682-2000
<http://minatimirai.pia.jp/>

イープラス eplus.jp/
チケットぴあ 0570-02-9999 <http://pia.jp/t/>
(【東京】Pコード:135-440 / 【横浜】Pコード:135-586)
ローソンチケット 0570-000-407 (オペレーター対応) <http://l-tike.com/>
(【東京】Lコード:34778 / 【横浜】Lコード:34733)

特報！ロシア×ハンガリー 東京2公演セット券限定発売！

小林研一郎 指揮
ハンガリー・ブダペスト交響楽団
2018年5月21日(火) サントリーホール

東京2公演セット券
S席 25,000円→22,000円
A席 21,000円→19,000円
テンポプリモ限定の限定販売 03-3524-1221(平日10時~18時)

コダーイ「オランダ舞曲」
リスト「ピアノ協奏曲第1番」
小林研一郎「ハンガリーへの想い」
ドヴォルザーク「交響曲第9番「新世界より」」

S席:12,000円 A席:10,000円
B席:8,000円 P席:6,000円